

3日目 3月21日(土)

■特別企画13 (大会ホームページをご覧ください)

3日目 (3月21日) 09:10～10:10

第3会場 (2FスノーホールB)

座長 飯村 学 (国際協力機構 (JICA))

井上 潤一 (日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急センター)

3-SS13 (緊急報告) スリランカ民主社会主義共和国サイクロン被害における
国際緊急援助隊医療チームの活動について

広島大学 久保 達彦

帝京大学 黒住 健人

東京科学大学病院 高村 ゆ希

新潟大学 中込 悠

国際協力機構 幅野由樹子

■特別企画14

3日目 (3月21日) 14:20～15:20

第5会場 (3F中会議室301)

3-SS14 災害対応思考の理論と実践：OODAループで読み解く決め打ちと臨機対応の相補性

東北大学 災害科学国際研究所 佐々木宏之

東京都立病院機構 法人本部 中島 康

■特別企画15 (大会ホームページをご覧ください)

3日目 (3月21日) 15:30～17:00

第5会場 (3F中会議室301)

座長 高橋 善明 (浜松医科大学 救急災害医学講座)

中邑 風貴 (福岡大学薬学部)

3-SS15 DMAS企画 第13回学生フォーラム座談会「CBRNE(複合)災害における多職種連携」

日本災害医学会学生会部会・高知県立大学看護学部 看護学科 佐藤 大耀

国立健康危機管理研究機構 危機管理運営局 DMAT事務局 若井 聡智

一般財団法人脳神経疾患研究所附属総合南東北病院/災害医療部開設準備室/福島県医師会 薬谷 暢

日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター 本村 友一

独立行政法人国立病院機構 災害医療センター 高良 仁

福岡大学薬学部 健康危機管理薬学研究室 江川 孝

■教育講演14

3日目 (3月21日) 09:10～10:10

第1会場 (4Fマリンホール)

社会医学系専門医講習：共通講習 (医療倫理)

座長 山岸 正明 (奈良県立医科大学 先天性心疾患センター)

3-EL14 仏教思想から考える死生観と苦の定義

実験寺院 寶幢寺 松波 龍源

■教育講演15

3日目 (3月21日) 09:50～10:50

第4会場 (2F中会議室201)

座長 今井 一徳 (名古屋市立大学大学院医学研究科 救命救急医療学)

3-EL15 VUCA（変動性、不確実性、複雑性、曖昧性）の時代のキャリアと志を考える

グロービス経営大学院／藤田医科大学 田久保善彦

■シンポジウム16

3日目（3月21日）10:20～11:50

第1会場（4Fマリンホール）

中越沖地震 最前線で起きていたこと

座長 近藤 久禎（国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局）

高橋 昌（新潟大学大学院医歯学総合研究科 災害医学・医療人育成分野）

3-SY16-1 平成19年（2007年）新潟県中越沖地震 発災～復興～伝承

柏崎市消防本部 佐藤 貴志

3-SY16-2 中越沖地震の最前線で起きていたのは、DMATの実証実験であった

新潟市民病院 救命救急・循環器病・脳卒中センター 熊谷 謙

3-SY16-3 地域大学の被災地行政支援とその後の制度化

ー日本初の災害医療コーディネーター制度の運用から生まれた仕掛け

新潟大学大学院医歯学総合研究科 災害医学・医療人育成分野 高橋 昌

3-SY16-4 災害医療コーディネーターとして1か月活動して

新潟県柏崎保健所（兼）新潟県福祉保健部 堀井 淳一

■シンポジウム17

3日目（3月21日）14:20～15:50

第1会場（4Fマリンホール）

被災地における現地保健所（長）の役割

座長 池田 和功（和歌山県新宮保健所）

尾島 俊之（浜松医科大学 健康社会医学講座）

3-SY17-1 新潟県中越沖地震における柏崎保健所の対応

新潟県柏崎保健所（兼）新潟県福祉保健部 堀井 淳一

3-SY17-2 被災地保健所長の機能を支えるもの ～平時の活動と専門性～

熊本県有明保健所兼山鹿保健所 服部希世子

3-SY17-3 令和6年能登半島地震における能登北部保健所の役割

～普段から市町に頼られる存在であるという備え～

石川県能登中部保健所／元能登北部保健所 後藤 善則

■シンポジウム18

3日目（3月21日）14:20～15:50

第2会場（2FスノーホールA）

歴史に学ばない災害対応

座長 熊谷 謙（新潟市民病院 救命救急・循環器病・脳卒中センター）

末永利一郎（総合病院山口赤十字病院 医療情報課）

3-SY18-1 愛知県ドクターヘリ2機目導入後の局地災害への複数ヘリコプター運用の取り組み

愛知医科大学 救急集中治療医学講座 寺島 嗣明

3-SY18-2 災害時ドローン情報共有と物資搬送

健生会土庫病院 中尾 武

3-SY18-3 人流データを活用した災害対応

京都大学防災研究所 畑山 満則

3-SY18-4 デジタル技術を活用した災害対応での情報共有・連携

国立研究開発法人防災科学技術研究所 佐野 浩彬

3-SY18-5 災害訓練における情報収集電子化の有用性と運用上の課題

名古屋市立大学病院 薬剤部 大橋 一輝

■シンポジウム19

3日目(3月21日) 10:20～11:50

第3会場(2FスノーホールB)

令和8年防災庁の設置で日本の避難生活環境は改善されるのか

座長 石井美恵子(国際医療福祉大学大学院医療福祉学専攻 保健医療学専攻 災害医療分野)
植田 信策(日本赤十字社 医療事業推進本部(兼) 事務局救護・福祉部)

3-SY19-1 イタリアから学ぶ避難所環境を抜本的に改善する方法

新潟大学医歯学総合研究科先進血管病・塞栓症治療・予防講座 榛沢 和彦

3-SY19-2 避難所を「社会的共通資本」へ：

公有民営(PFI)による統合運用システムの社会実装と持続可能な資金モデル

株式会社シェルターワン 中林 秀仁

3-SY19-3 避難生活の質向上に向けたクラスターアプローチの国内展開

特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン 稲葉 基高

3-SY19-4 皆でともに創る防災立国の実現へ～防災庁設置に向けた基本方針について～

内閣官房防災庁設置準備室 大山 璃久

3-SY19-5 災害時の避難所環境改善を目指す超党派議員連盟の設置について

衆議院議員 鳩山紀一郎

■シンポジウム20

3日目(3月21日) 10:20～11:50

第6会場(3F中会議室302)

病院・施設搬送

座長 武田 徹(国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局)
宮島 衛(長岡赤十字病院 救命救急センター)

3-SY20-1 東日本大震災被災中心地における災害拠点病院での大規模搬送調整
—病院職員による効率的マネジメントの実際—

石巻赤十字病院 救急科 小林 道生

3-SY20-2 能登半島地震における介護施設入所者の死亡率調査と支援体制の影響

福島県立医科大学 坪倉 正治

3-SY20-3 能登半島地震における介護老人保健施設支援とその後の交流

新潟県立新発田病院 長谷川 聡

3-SY20-4 大規模災害時に空路医療搬送に付随する陸路搬送負担を軽減するために

日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター／日本医科大学 救急医学講座／日本医科大学千葉北総病院 災害対策室 本村 友一

3-SY20-5 首都直下地震における千葉県の災害医療体制の提案：

房総半島南側への搬送フローおよび港湾を活用した大型船舶による医療支援と海上搬送の検討

独立行政法人労働者健康安全機構 千葉ろうさい病院 重症・救命科／集中治療部 矢野 清崇

■パネルディスカッション27

3日目 (3月21日) 10:20～11:50

第2会場 (2FスノーホールA)

「熊本地震から10年－DHEATによる被災者支援活動の継承と挑戦～地域で守る命と暮らし～」

座長 是枝 大輔 (国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局)

早川 貴裕 (栃木県保健福祉部 医療政策課／全国DHEAT協議会)

3-PD27-1 災害時健康危機管理支援チーム (DHEAT) の体制整備

及び運用に係る現状と今後の課題

栃木県保健福祉部 医療政策課／全国DHEAT協議会 早川 貴裕

3-PD27-2 地方ブロック単位で開催されるDHEAT訓練などを通じた、

大規模災害時のDHEATの役割の明確化

富山県厚生部 医務課 小倉 憲一

3-PD27-3 DHEAT訓練を通じた県・政令市の連携について

広島市健康福祉局保健部 健康推進課 城間 紀之

3-PD27-4 DHEATの活動および人材育成に関する課題と将来展望

ー令和6年能登半島地震における活動の検証をふまえてー

国立保健医療科学院 富尾 淳

■パネルディスカッション28

3日目 (3月21日) 14:20～15:50

第3会場 (2FスノーホールB)

災害時における医療提供体制 (医療用車両・コンテナ・船舶の活用) を考える

座長 中田 敬司 (神戸学院大学現代社会学部 社会防災学科)

山口 順子 (日本大学医学部 救急医学系 救急集中治療医学分野)

3-PD28-1 能登半島における災害復旧ヘルスケアMaaS事業と

その後のプライマリケアにおける展開

コミュニティヘルス研究機構／慶應義塾大学医学部 公衆衛生学教室 山岸 暁美

3-PD28-2 「統合型医療モビリティシステム」が拓く災害医療のパラダイムシフト：

船舶・コンテナ・MaaSの役割分担による医療提供体制

名古屋大学 山本 尚範

3-PD28-3 可搬式コンテナ医療ユニット (CoMU[®]) の災害急性期活用と今後の課題

愛知医科大学病院 高度救命救急センター 渡邊 栄三

3-PD28-4 医療コンテナの現状と展望

長崎大学病院／医療コンテナ推進協議会 山下 和範

3-PD28-5 陸路途絶下の医療継続における船舶の位置づけ—医療施設整備支援の観点から—

ピースウィンズジャパン (PWJ) 稲葉 基高

■パネルディスカッション29

3日目 (3月21日) 10:20～11:50

第5会場 (3F中会議室301)

社会医学の視点ではぐくむ地域連携

座長 高桑 大介 (災害医療ACT研究所)

檜垣 高史 (愛媛大学医学部 小児・思春期療育学講座)

3-PD29-1 命をつなぐスキルと行動力の育成～救急車に引き継ぐまで～

愛南町立一本松中学校 中井 孝一

3-PD29-2 学生と市民が学び合う災害シチズンサイエンス教育の社会実装

千葉大学大学院 石橋みゆき

3-PD29-3 社会医学的視点でみる地方医療圏における地域防災連携の育成

—オホーツク地域の実践から—

北見赤十字病院 谷口 治

3-PD29-4 地域の潜在的な脅威によって引き起こされる住民の健康危機管理に関する提案

国立健康危機管理研究機構 危機管理運営局 DMAT事務局 若井 聡智

3-PD29-5 地域独自の研修と技能時訓練を基盤とした小児周産期リエゾンと

DMATの協働モデル

順天堂大学医学部附属浦安病院 高度救命救急センター 石原 唯史

■パネルディスカッション30

3日目 (3月21日) 14:20～15:50

第6会場 (3F中会議室302)

統合された災害精神・心理対応を考える。海外のMHPSSの概念を日本で再考する。

座長 高橋 晶 (筑波大学医学医療系 災害・地域精神医学/茨城県立こころの医療センター)

原田奈穂子 (岡山大学学術研究院 ヘルスシステム統合科学学域 看護科学分野)

3-PD30-1 精神保健と心理社会支援 (MHPSS) : 世界の動向と日本への期待

WHO健康開発総合研究センター/長崎大学/広島大学 茅野 龍馬

3-PD30-2 WHO EviMaPS 日本データ集計レポート :

本邦における災害関連MHPSS実践のマッピング

岡山大学学術研究院 ヘルスシステム統合科学学域 看護科学分野 原田奈穂子

3-PD30-3 緊急時の精神保健・心理社会的支援に関する国際活動分類の紹介

—頻出手段の面からのこころのケア再考—

日本赤十字看護大学附属災害救護研究所 森光 玲雄

3-PD30-4 日本の災害医療におけるMHPSSは、平時と連動できる点が特徴である！

～赤十字の例から考える～

日本赤十字社和歌山医療センター 救急科・消化器外科・精神科・国際医療救援登録要員/

JEMDRA-HAP(日本EMDR学会人道支援プログラム)/心のサポートネット和歌山 益田 充

3-PD30-5 精神保健・心理社会的支援（MHPSS）の

日本の災害精神医療領域における適応と展開について

筑波大学医学医療系 災害・地域精神医学／茨城県立こころの医療センター／筑波メディカルセンター病院 精神科 高橋 晶

■パネルディスカッション31

3日目（3月21日）10:20～11:50

第7会場（展示ホールA1（特設））

災害時に効果的な医薬品供給・薬事衛生を行うために今できることは

～これまでの課題とこれから何をすべきか～

座長 山田 卓郎（公益社団法人日本薬剤師会）

渡邊 暁洋（兵庫医科大学 危機管理医学講座）

3-PD31-1 災害時に効果的な医薬品供給・薬事衛生を行うための災害薬事

コーディネーターの配備の重要性について

厚生労働省医薬局総務課 至田 智行

3-PD31-2 大分市佐賀関大規模火災における大分県薬剤師会の災害薬事支援

（公社）大分県薬剤師会 伊藤 裕子

3-PD31-3 災害対応薬剤師における育成体制について

兵庫医科大学 危機管理医学講座 渡邊 暁洋

3-PD31-4 過去の災害事例から見えてくる医薬品フォーミュラリ

福岡大学薬学部 健康危機管理薬学研究室 江川 孝

■パネルディスカッション32

3日目（3月21日）14:20～15:50

第7会場（展示ホールA1（特設））

AI・DXが拓く次世代災害医療と、その実装を阻む『壁』の克服

座長 花本 芳洋（日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院）

林 秀樹（岐阜薬科大学 地域医療実践薬学研究室）

3-PD32-1 災害DX「ことはじめ」～DXの本格導入に繋ぐ低コストのシステム構築～

社会医療法人仁愛会 浦添総合病院 救命救急センター 米盛 輝武

3-PD32-2 広島県における救急医療情報連携プラットフォーム実証と災害時活用の展覧

—国主導DXの先行モデルとして—

広島県健康福祉局 健康危機管理課／広島大学医系科学研究科 公衆衛生学 小山 智士

3-PD32-3 災害対応DXの続報：

HRO体制構築を目指したAIによる問題対応支援システムの開発

春日井市民病院 河合 豊

3-PD32-4 危機下の病院を「データ駆動型」へ：

デジタル技術によるレジリエンスと意思決定支援の実現

順天堂大学医学部附属浦安病院 岡本 健

3-PD32-5 長期孤立地域高齢者施設に対する籠城支援策

～保健医療福祉情報共有システム（DH-Wins）の作成～

愛知医科大学災害医療研究センター 小澤 和弘

■パネルディスカッション33

3日目 (3月21日) 14:20～15:50

第8会場 (展示ホールA2(特設))

災害急性期の運動器外傷対応ー災害時に整形外科医がやるべきことを考えるー

座長 黒住 健人 (帝京大学医学部 救急医学講座)

細川 浩 (山鹿温泉リハビリテーション病院 リハビリテーション科)

3-PD33-1 日本整形外科学会災害対応委員会の成立ち

東京都立広尾病院 田尻 康人

3-PD33-2 熊本地震整形外傷報告と運動器外傷災害医療コーディネート制度の提案

山鹿温泉リハビリテーション病院 細川 浩

3-PD33-3 現場と後方をつなぐ整形外科医の役割

ー令和6年能登半島地震・急性期対応の経験から

金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 整形外科学講座/金沢大学附属病院救急科 米澤 宏隆

3-PD33-4 日本整形外科学会の挑戦 災害対応委員会の設立と災害教育

鳥取大学医学部附属病院 生越 智文

3-PD33-5 国際・国内災害に学ぶ整形外科医の災害医療への貢献

ークラッシュ症候群と初動対応ー

国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局/

日本災害学会 災害時急性期傷病対応検討委員会 大場 次郎

3-PD33-6 搬送トリアージを用いた整形外科患者コーディネート

帝京大学医学部 救急医学講座/虎の門病院 外傷センター 黒住 健人

■パネルディスカッション34

3日目 (3月21日) 10:20～11:50

第9会場 (展示ホールA3(特設))

災害を科学する ～過去の災害に学び将来の災害に備える

座長 江川 新一 (東北大学 災害科学国際研究所 災害医療国際協力学)

津田 雅庸 (愛知医科大学 災害医療研究センター)

3-PD34-1 ICF分析による災害関連死の連鎖的構造と

生活機能アセスメントに基づく看護の役割

兵庫県立大学大学院看護学研究科 博士後期課程 松田 朋子

3-PD34-2 水害が被災地の死因に与える影響に関する研究

岡山大学病院/厚生労働省医政局地域医療計画課 飯田 淳義

3-PD34-3 平時と災害時を連続的に捉えるための新たな災害医療モデルの提案:

Safety- II と事前文化の視点から

帝京大学医学部 救急医学講座 安心院康彦

3-PD34-4 自然災害後の2次的健康被害に関する本邦の研究概況と課題:

5データベースを用いたスコーピングレビュー

岡山大学 原田 奈穂子

3-PD34-5 日本赤十字看護大附属災害救護研究所の使命
～人・地域・社会を護り、つなぐために～

日本赤十字看護大学附属災害救護研究所 丸山 嘉一

3-PD34-6 大規模災害におけるアクセス出来ない現場や避難所への医療的介入の必要性

前橋赤十字病院 集中治療科・救急科 中村 光伸

■パネルディスカッション35

3日目 (3月21日) 14:20～15:50

第9会場 (展示ホールA3(特設))

災害時の静脈血栓塞栓症 (VTE) の多職種連携

座長 植田 信策 (日本赤十字社 医療事業推進本部 (兼) 事業局救護・福祉部)
横沢 和彦 (新潟大学医歯学総合研究科 先進血管病・塞栓症治療・予防講座)

3-PD35-1 大規模災害時における静脈血栓塞栓症予防に対する日本静脈学会の活動

JCHO 南海医療センター 心臓血管外科 岩田英理子

3-PD35-2 深部静脈血栓症 (DVT) 検診と保健医療福祉調整本部の課題

福井大学医学部 地域医療推進講座 山村 修

3-PD35-3 深部静脈血栓症 (DVT) 検診における臨床検査技師会の役割

一連携調整・部隊編成・人員確保について～

日本臨床衛生検査技師会/東京医療保健大学 板橋 匠美

3-PD35-4 災害時と平時をつなぐメディカルカーによるVTE対策と

医療経済循環を意識した多職種連携

宝来メデック株式会社/一般社団法人SNK Nowade clinic 平松 佑麻

3-PD35-5 災害時における静脈血栓塞栓症予防を目的としたJRATの機動的支援と

エコー活用の検討

愛仁会尼崎だいもつ病院/JRAT研修企画委員会 富岡 正雄

3-PD35-6 演題取下

■ワークショップ10

3日目 (3月21日) 09:10～10:10

第2会場 (2FスノーホールA)

避難所開設・運営と被災地支援の課題と新展開

座長 卜部 厚志 (新潟大学 災害・復興科学研究所)
官島 衛 (長岡赤十字病院 救命救急センター)

3-WS10-1 住民主体の避難所開設・運営を実現する地域防災の実践と課題

(公社) 中越防災安全推進機構 河内 毅

3-WS10-2 近年の災害における避難所の課題

(公社) 中越防災安全推進機構 野村 祐太

3-WS10-3 災害復旧・復興時の受援力強化

新潟大学 災害・復興科学研究所 卜部 厚志

■ワークショップ11

3日目 (3月21日) 11:00～12:00

第4会場 (2F中会議室201)

キャリアの迷いに向き合う～災害医療に関わる人たちのリアルと対話～

座長 今井 一徳 (名古屋市立大学大学院医学研究科 救命救急医療学)
高橋 礼子 (愛知医科大学 災害医療研究センター)

3-WS11-1 医師としての専門性と災害医療の関わり～自身のキャリアを振り返って～

山鹿温泉リハビリテーション病院 細川 浩

3-WS11-2 災害医療に『関わり続ける』という選択—制約の中で見えた新たな役割

都城市郡医師会病院 平川 薫

■ワークショップ12

3日目 (3月21日) 14:20～15:20

第4会場 (2F中会議室201)

災害時における全国医療情報プラットフォームの活用

座長 和泉 邦彦 (藤田医科大学 防災教育センター)
渡邊 暁洋 (兵庫医科大学 危機管理医学講座)

3-WS12-1 災害時に備えた平時からの電子処方箋等の活用と課題

厚生労働省医薬局総務課 電子処方箋サービス推進室 長嶋 賢太

3-WS12-2 「平時」を「有事」の備えに—能登半島地震における医療ICTの光と影

タイガープライム (株) タイガー薬局 折戸 真澄

3-WS12-3 災害時における、医薬品の供給体制の効果的な医療情報の活用について

日本薬剤師会 災害対策委員会 越智 哲夫

3-WS12-4 災害時における全国医療情報プラットフォーム活用への期待

岩手医科大学医学部 救急・災害医学講座/日本災害医学会 災害薬事委員会/日本災害医学会 広報委員会 富永 綾

■ワークショップ13

3日目 (3月21日) 09:10～10:10

第5会場 (3F中会議室301)

病院で火災、その実際は？

座長 山下 和範 (長崎大学病院 災害医療支援室)

3-WS13 病院での火災 その時現場では・・・～避難訓練と実災害の違いを考える～

福岡大学病院 救急治療センター/福岡大学病院 救命救急センター 喜多村泰輔

■ワークショップ14

3日目 (3月21日) 09:10～10:10

第6会場 (3F中会議室302)

災害医療でのロボットの可能性

座長 松野 文俊 (大阪工業大学工学部 電子情報システム工学科/京都大学/福島国際研究教育機構 (F-REI))
本村 友一 (日本医科大学千葉北総病院)

3-WS14-1 ドローンによる人命救助・災害対応の最前線

F-REIロボット分野/先端ロボティクス財団/株式会社Autonomy 野波 健蔵

3-WS14-2 「災害医療における医工連携の期待」ーロボット技術の活用と将来への展開ー

東京曳舟病院 長橋 和希

3-WS14-3 災害対応ロボットの研究開発と社会適応

東北大学 大野 和則

3-WS14-4 現場起点で進める災害医療分野におけるロボット・ICT技術の実証と社会実装

済生会福岡総合病院 救命救急センター／九州大学大学院 救急医学講座／日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター 久城 正紀

3-WS14-5 災害対応ロボットの社会実装の課題とその解決戦略

東京大学東京カレッジ 浅間 一

■ワークショップ15

3日目 (3月21日) 09:10～10:10

第7会場 (展示ホールA1(特設))

災害時の電子処方せんについて

座長 富永 綾 (岩手医科大学医学部 救急・災害医学講座)
若井 聡智 (国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局)

3-WS15-1 電子処方箋と災害医療への有用性

厚生労働省医薬局総務課電子処方箋サービス推進室 長嶋 賢太

3-WS15-2 令和6年能登半島地震における薬剤師の活動

ー支援と受援の両面から見えた課題ー

公益社団法人石川県薬剤師会 乙田 雅章

3-WS15-3 災害時における電子処方せんの今後の活用について

兵庫医科大学 危機管理医学講座 渡邊 暁洋

■ワークショップ16

3日目 (3月21日) 10:20～11:20

第8会場 (展示ホールA2(特設))

災害とテクノロジー

座長 末永利一郎 (綜合病院山口赤十字病院 医療情報課)
水野 浩利 (札幌医科大学医学部 救急医学講座)

3-WS16-1 災害とスタートアップ

医療法人社団季邦会／株式会社EN／東京医科大学病院 鎌形 博展

3-WS16-2 災害時院内情報管理システムを用いた情報共有により、

多数傷病者受け入れを可能にした近隣火災事例

泉大津急性期メディカルセンター 山本 啓雅

3-WS16-3 大学病院における災害対応力強化の取り組み

ー主要部署アクションカードの整備とテクノロジー活用による組織的課題への対応ー

北里大学病院 看護部 災害医療対策室 梶山 和美

3-WS16-4 実事案と訓練から検証する、

DMAT局地災害対応におけるグループウェア活用と情報共有体制の課題

大阪急性期・総合医療センター 吉田 紗理

■口演3-1

3日目(3月21日)09:10~10:10

第8会場(展示ホールA2(特設))

「感染」を科学する

座長 小笠原 賢(青森県立中央病院 災害医療管理監)
渡部 広明(島根大学医学部附属病院 災害医療・危機管理センター)

- 3-01-1 避難所運営時の感染症対策に関する地域保健師・栄養士向け研修の実施
地方独立行政法人市立秋田総合病院 山本由紀子
- 3-01-2 感染症対策の歴史から考える、災害と人権
国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局 三村 誠二
- 3-01-3 COVID-19感染症流行に伴う病院職員の心理的影響に関するスコーピングレビュー
聖路加国際病院 救命救急センター 小川裕美子
- 3-01-4 避難所における生活者の手指の経時的汚染状況と各種消毒剤の効果の検討
桐生大学医療保健学部 黒田 梨絵
- 3-01-5 災害ボランティア活動における健康管理や感染予防に関する検討
ー平常時および防災活動時の比較ー
名古屋市立大学大学院看護学研究科 吉川 寛美

■口演3-2

3日目(3月21日)09:10~10:10

第9会場(展示ホールA3(特設))

「地域連携」を科学する

座長 石原 諭(兵庫県災害医療センター)
萩原 裕也(前橋赤十字病院高度救命救急センター 集中治療科救急科)

- 3-02-1 水害リスクの高度理解とタイムラインの実践を目指した
地域連携推進プログラムの効果ー人吉球磨地域における医療連携の取組み・その3ー
清水建設株式会社 設計本部 諸星 玲子
- 3-02-2 院内救急救命士が地域の総合防災訓練に参加する意義
社会医療法人財団慈泉会 相澤病院 北原 誠也
- 3-02-3 行政と医療機関の協働による多職種連携強化の効果
ー磐田市における病院前救護所構想を通じてー
磐田市立総合病院 救急科 一谷 真一
- 3-02-4 小規模町の災害医療訓練に
日本災害医学会セミナー(JADMS)を利用した新しい取り組み
ひがしおかメディケアクリニック/日本災害医学会セミナー委員会 東岡 宏明
- 3-02-5 DWATとDWASの協働における災害ソーシャルワーク実践の「見える化」
ー7次元統合体モデルによる実践知の科学化ー
熊本学園大学 黒木 邦弘
- 3-02-6 北海道の日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策推進地域における
積雪寒冷期対策としての備蓄に関する調査
札幌医科大学附属病院/国際医療福祉大学大学院 災害医療分野 進藤 由紀

3-02-7 防災庁がなすべき避難所の発想転換について

神戸学院大学現代社会学部 社会防災学科 中田 敬司

3-02-8 南海トラフ発生時における東三河の複合災害リスク評価：
ハザードマップを用いた医療・避難所の課題抽出

豊橋医療センター 伊藤 武

■口演3-3

3日目 (3月21日) 09:10～10:10

第10会場 (展示ホールA4(特設))

「災害精神」を科学する

座長 増野 智彦 (日本体育大学保健医療学部 救急医療学科)

山平 大介 (秋田大学医学部附属病院 高度救命救急センター)

3-03-1 大規模地震時医療活動訓練でのDPATの訓練内容から考える
精神科病院への支援の在り方とDMATとの協働方法の検証

西船ゆうなぎ診療所/DPAT事務局 吉田 航

3-03-2 実災害時におけるDPAT運用上の課題について
――大規模地震時医療活動訓練の振り返りから――

DPAT事務局 納橋 優奈

3-03-3 大阪府災害拠点精神科病院における受援と現状分析方法を再考する

大阪府立病院機構 大阪精神医療センター 藤江 直輝

3-03-4 都道府県におけるDPAT体制の現状評価

神経科浜松病院 福生 泰久

3-03-5 災害派遣精神医療チーム (DPAT) のブロック体制構築における課題
――DPAT関連体制整備調査の二次分析から――

DPAT事務局 納橋 優奈

3-03-6 クマ被害を災害として捉える心理的影響の構造
――秋田県被害者インタビューの質的分析――

尚綱学院大学 総合人間科学系 奥山 純子

■口演3-4

3日目 (3月21日) 10:20～11:20

第10会場 (展示ホールA4)

「子ども・医療的ケア児」を科学する

座長 一谷 真一 (磐田市立総合病院 救急科)

野村 智久 (順天堂大学医学部附属練馬病院 救急・集中治療科)

3-04-1 長野県小児科医会の災害対策への取組み ～こどものための災害対策～

竹内こども医院/長野県小児科医会 天野 芳郎

3-04-2 千葉県医療的ケア児等支援センターによる災害対策支援の取り組みとその一例

千葉県千葉リハビリテーションセンター リハビリテーション治療部/千葉県医療的ケア児等支援センター ぼらりす 後藤 達也

3-04-3 災害時小児周産期リエゾンが取り組む医療的ケア児の平時の備え

熊本大学病院 小児科 小籾 史郎

- 3-04-4 和歌山県における災害時小児周産期リエゾンの現状と課題
和歌山県立医科大学 小児科/和歌山県災害時小児周産期リエゾン 垣本 信幸
- 3-04-5 大規模地震時医療活動訓練における
災害時小児周産期リエゾンの遠隔地域連携訓練報告
手稲溪仁会病院 小児科/小児集中治療科 荻原 重俊
- 3-04-6 医療的ケア児の家族が抱える自然災害への不安と求められる支援
鶴岡市立荘内病院 木村 晃一
- 3-04-7 救命教育を通じた災害に強い次世代の育成
～とうおんハート救命プロジェクトの取り組み～
東温市消防本部 二神 平
- 3-04-8 医療的ケア児等災害対策研修会を通じた災害対策に関する取り組み
鳥取大学医学部 脳神経小児科学/日本小児神経学会 災害対策委員会 中村 裕子

■口演3-5

3日目 (3月21日) 14:20～15:20

第10会場 (展示ホールA4(特設))

「人材育成」を科学する3

座長 木谷 昭彦 (鳥根大学 Acute Care Surgery 講座)
高桑 大介 (災害医療ACT研究所)

- 3-05-1 特別支援学校の防災イベントを看護学生と機動隊員が協働して盛り上げてみた！
東海大学医学部 看護学科 大山 太
- 3-05-2 看護学生と救急救命士学生協働による大災害シミュレーション訓練
Brigham Young University アンダーソン マット
- 3-05-3 「垂直的カリキュラム」による医学生への災害医療教育の試み
防衛医科大学校 防衛医学講座 黒川 貴幸
- 3-05-4 熊本地震の知見に基づく日本で求められるCSM教育プラットフォーム開発
日本医科大学多摩永山病院/日本医科大学救急医学教室/国際緊急援助隊救助チーム医療班 阪本 太吾
- 3-05-5 災害や感染症に対する薬剤師の研修の推進
明治国際医療大学/NPOわれらはふるさと医療応援団 平出 敦
- 3-05-6 大学院生及び実務者向け健康危機管理人材育成プログラムの開発と実施
京都大学大学院医学研究科附属 ヘルスセキュリティセンター 健康危機管理システム学分野/
京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻医療経済学分野 今中 雄一

■ポスター3-1

3日目 (3月21日) 13:10～14:10

ポスター会場 (展示ホール)

「被災地域支援」を科学する

座長 大桃 丈知 (正志会 平成立石病院 地域救急医療センター)
白倉 透規 (社会医療法人立川メディカルセンター 立川綜合病院 地域医療介護連携センター)

- 3-P1-1 災害時に行政区における保健医療福祉関係者の拠点となるための
名古屋市保健所西保健センターの取り組み
名古屋市保健所西保健センター 田邊 裕
- 3-P1-2 災害病院ボランティア体制の構築と取り組み～継続的な育成を目指して～
医療法人辰星会 栞記念病院 三瓶 七海
- 3-P1-3 響けマンドリン！届け真心！輝く未来へ！～地域住民がつなぐ災害支援～
榎本はりきゅう院／公益社団法人全日本鍼灸マッサージ師会 災害対策委員会／災害支援鍼灸マッサージ師合同委員会 榎本 恭子
- 3-P1-4 災害時における透析患者対応のマニュアル整備と地域連携体制の構築
順天堂大学医学部附属練馬病院 救命救急センター 廣田 恵典
- 3-P1-5 想定地震が災害医療のコーディネーションに与える影響評価
東北大学 災害科学国際研究所 佐藤 健
- 3-P1-6 在宅療養支援診療所（訪問診療クリニック）の災害対策
医療法人社団季邦会／株式会社EN／東京医科大学病院 鎌形 博展
- 3-P1-7 チーム名古屋で取り組む感染対策に強い災害ボランティアの育成に関する活動
名古屋市立大学大学院看護学研究科 中嶋 未佳
- 3-P1-8 南海トラフ巨大地震の被害想定と地域防災ボランティアグループの活動
安城更生病院 織田 智治

■ポスター3-2

3日目（3月21日）13:10～14:10

ポスター会場（展示ホール）

「教育」を科学する

座長 川原千香子（帝京大学 シミュレーション教育研究センター）
高山 和之（神戸大学大学院医学研究科 外科系講座 災害・救急医学分野）

- 3-P2-1 医学生による災害時の病院支援を実現するための教育と社会実装
東北医科薬科大学医学部 医学科 浦尾 樹正
- 3-P2-2 多学部学生が板橋区および
日本大学医学部附属板橋病院総合防災訓練に参画することで得た学び
日本大学医学部 秋山 裕亮
- 3-P2-3 庄内地域沿岸部の小学校における防災教育の現状
山形県立保健医療大学 熊田 風紗
- 3-P2-4 災害を想定した避難時持ち出し物品の状況と課題
山形県立保健医療大学 橋本奈々美
- 3-P2-5 医療従事者がいない場合に市民が実施する
トリアージの効果と問題点に関する文献研究
高知大学 菅野 匠真
- 3-P2-6 多数傷病者受け入れ訓練を通じた千葉大学医学部機能別消防団員としての
医学生の学びと課題ー トリアージ・連携・コミュニケーションを中心にー
千葉大学医学部 神ノ田瑞季

3-P2-7 学生対象のトリアージ勉強会は、災害時に実働可能な人材の育成に寄与する

千葉大学医学部 医学科 向坊 颯

■ポスター3-3

3日目 (3月21日) 13:10～14:10

ポスター会場 (展示ホール)

「清潔・排泄」を科学する

座長 島津 和久 (兵庫県災害医療センター 救急部)

竹内 美妃 (札幌医科大学医学部 社会医学講座公衆衛生学分野)

3-P3-1 “おなかすいた”より“トイレがない”が先にくる—災害対応BOXの作成—

地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立多摩総合医療センター 災害対策チーム 木本 雅人

3-P3-2 災害時における院内トイレ確保と初動体制の構築

磐田市立総合病院 川本 貴子

3-P3-3 動画教材を用いた災害トイレ教育の実践報告と今後の展望

～多職種連携と実践的訓練の必要性～

洛和会音羽病院 加藤 尚

3-P3-4 災害拠点病院における災害時の簡易トイレ備蓄について

徳島赤十字病院 救急科 福田 靖

3-P3-5 避難所仮設トイレの臭気強度に影響する要因と
臭気を抑えるための介入タイミングの検討

東京医療保健大学立川看護学部 看護学科 竹内さや乃

3-P3-6 DMATが使用するトイレ衛生環境の保持に向けたプロトコル作成に向けた取り組み
～能登半島地震で被災した拠点病院へのアンケート調査から～

公立能登総合病院 看護部/DMAT隊員/感染管理認定看護師 内山 広志

3-P3-7 災害時の手洗い場環境と口腔ケアに関する調査

熊本大学大学院生命科学研究部 内藤 久貴

3-P3-8 当院における災害時の断水被害を想定したトイレ対策の検討

—災害時トイレマニュアルの作成—

島田市立総合医療センター 佐藤 充

■ポスター3-4

3日目 (3月21日) 13:10～14:10

ポスター会場 (展示ホール)

「災害時要配慮者と鍼灸マッサージ」を科学する

座長 谷口健太郎 (松阪中央総合病院 救命救急センター)

松園 幸雅 (荒尾市立 有明医療センター 救急科)

3-P4-1 高次脳機能障害患者とその家族を対象とした災害の備えに関する退院指導の試み

川崎市立多摩病院/国際医療福祉大学大学院 災害医療分野 國谷さやか

3-P4-2 災害医療分野における鍼灸マッサージの認知度と需要について
施術体験後のアンケート調査に基づく検討

日本災害鍼灸マッサージ連絡協議会/一般社団法人全国鍼灸マッサージ協会/杉浦鍼灸院 杉浦 雄

- 3-P4-3 2025年世界災害救急医学会 (WADEM2025)
鍼灸マッサージ体験ブースにおけるアンケート結果と世界各国の反応
DSAM 災害支援鍼灸マッサージ師合同委員会/公益社団法人日本鍼灸師会 危機管理委員会 是元 佑太
- 3-P4-4 災害時初動対応訓練を振り返って～黒 (死亡群・不処置群) エリアで見えた課題～
松山赤十字病院 浅野 安彦
- 3-P4-5 大規模災害時遺体取扱 (Disaster Victim Identification; DVI) 訓練の成果と課題
国際医療福祉大学医学部 法医学 本村あゆみ
- 3-P4-6 外国人災害死対応の問題点 ー外国人遺族対応動画教材による検証ー
岩手医科大学 法科学講座 法歯学・災害口腔医学分野 熊谷 章子
- 3-P4-7 演題取下

■ポスター3-5

3日目 (3月21日) 13:10～14:10

ポスター会場 (展示ホール)

「災害看護」を科学する

座長 國方 美佐 (香川大学医学部附属病院 救命救急センターICU)
若狭 真美 (京都第一赤十字病院)

- 3-P5-1 大雨警報下の災害対策本部設置に関する病院看護管理者の意識調査
ー看護部長・副看護部長・師長を対象としたアンケート結果ー
秋田大学医学部附属病院 山平 大介
- 3-P5-2 災害支援ナース必携マニュアル改訂における意思決定プロセスの理論的分析
～制度移行期における不確実性下の意志決定と理論の実践的循環～
医療法人徳洲会 庄内余目病院 渡会 輝美
- 3-P5-3 2024年能登半島地震における寒冷・雪環境下での災害看護実践上の困難と工夫
(第1報) ー石川県内の病院看護師を対象とした調査ー
札幌市立大学看護学部 鬼塚 美玲
- 3-P5-4 2024年能登半島地震における寒冷・雪環境下での災害看護実践上の困難と工夫
(第2報) ーDMAT看護師を対象とした調査ー
札幌市立大学看護学部 鬼塚 美玲
- 3-P5-5 日赤救護班看護師長への教育に関する取り組み
～令和6年能登半島地震の事例を教材として～
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 角 由美子
- 3-P5-6 国際災害対応における看護師リーダー育成の実践的検討
埼玉医科大学総合医療センター/国際緊急援助隊医療チーム 増田由美子
- 3-P5-7 ラダー研修に組み込んだ災害対応教育の実践
ー看護部の災害対応力向上を目指してー
社会医療法人緑泉会 米盛病院 看護部 山之内千絵
- 3-P5-8 看護師の災害研修後の役割認識の実態と学びの定着について
～アクションカードを用いた机上シミュレーションを通して～
国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院 茂藤 智美

■ポスター3-6

3日目 (3月21日) 13:10~14:10

ポスター会場 (展示ホール)

「イベントと防災活動」を科学する

座長 丹羽 一見 (愛知淑徳大学健康医療科学部 救急救命学専攻)
服部 友紀 (名古屋市立大学病院 救急科)

3-P6-1 阿武隈リバーサイドマラソン大会の応急救護体制構築

医療法人本多友愛会 仙南病院/医療法人本多友愛会 介護老人保健施設 はくあいホーム/社会福祉法人 ふくじゅの森 本多 正久

3-P6-2 熊本城マラソン2025におけるフィニッシュエリア救護所の活動報告

国立病院機構 熊本医療センター 救命救急センター 渋谷 崇行

3-P6-3 神戸マラソン2025 ゴール位置変更に伴う救護体制の変革と展望

神戸市立医療センター中央市民病院 救命救急センター 平湯 峻馬

3-P6-4 陸上競技大会医務活動において集団災害医療も意識して作成したEAP
【広島モデル】運用の実際

川崎医科大学/広島化学学園大学 板井 由佳

3-P6-5 大規模スポーツイベントの救護対応に連動させた、
災害時の救急外来の増床展開及び、運営訓練の実施

一般財団法人神奈川県警友会 けいゆう病院 寺内 文平

3-P6-6 スポーツイベントを活用した国際EMT訓練：
徳之島トライアスロン大会における症例検討と運営体制の改善

医療法人徳洲会 徳之島徳洲会病院 看護部/NPO法人TMAT 浅野 京香

3-P6-7 アスリートの熱中症対応から、
将来の災害医療としてのプラネタリーヘルスを考える

日本赤十字社和歌山医療センター 救急科・集中治療部・消化器外科・精神科・国際医療救援登録要員/
日本臨床スポーツ医学会 益田 充

3-P6-8 祭りの熱気と防災の温度差：よさこい祭り参加者における災害対策の実態

高知大学医学部 災害・救急医療学講座 竹内 慎哉

■ポスター3-7

3日目 (3月21日) 13:10~14:10

ポスター会場 (展示ホール)

「人材育成」を科学する

座長 久野 将宗 (日本医科大学多摩永山病院 救命救急科)
益満 西 (京都橋大学 救急救命学科)

3-P7-1 初期臨床研修医における災害医療教育の経験と教育的意義

健和会大手町病院 大瀧 郁香

3-P7-2 機能的な災害対応実現のための病院オリジナル災害医療認定コースの開発

順天堂大学医学部附属練馬病院 高見 浩樹

3-P7-3 薬学実務実習生へのフィジカルアセスメント講習会の導入
～災害医療を視野に入れた試み～

埼玉医科大学総合医療センター 平澤 笑

- 3-P7-4 文部科学省支援事業「即戦力火山人材育成プログラム」の概要と、
それを活用した保健医療福祉担当者向け火山災害対応研修プログラム開発の試み
山梨県富士山科学研究所 石峯 康浩
- 3-P7-5 初学者を対象としたドローンを活用した災害支援教育プログラムの開発と課題
国士舘大学 防災・救急救助総合研究所 都 城治
- 3-P7-6 BHELP開催の現状と今後の展望：2025年度の取り組みと経年分析
広島大学大学院医系科学研究科 公衆衛生学／BHELP運営委員会 村山 華子
- 3-P7-7 保育現場におけるBLS教育を通じた災害時初期対応力の育成
－QCPRによる技能評価からの検討－
横浜創英大学看護学部 杉山 洋介
- 3-P7-8 震災対策に特化した震災時医療検討委員会の役割
草加市立病院 看護部 黒田 祐季

■ポスター3-8

3日目（3月21日）13:10～14:10

ポスター会場（展示ホール）

「災害精神」を科学する

座長 小林 映子（日本赤十字社医療センター薬剤部・国際医療救援部）
中尾 博之（医誠会国際総合病院 救急科）

- 3-P8-1 石川こころのケアセンター設立の経緯と活動報告
獨協医科大学埼玉医療センター／厚生労働省委託事業DPAT事務局 五明佐也香
- 3-P8-2 ア・テイル・オブ・トゥー・パンデミックス
神戸市立医療センター中央市民病院 救命救急センター 有吉 孝一
- 3-P8-3 南海トラフ地震等巨大地震時における精神科病院の被災状況について
神経科浜松病院／DPAT事務局／藤田医科大学 精神神経学講座 福生 泰久
- 3-P8-4 新型コロナ禍の救急活動に関わるストレス対策と今後の課題：
コロナ禍における救急隊員のストレス（17）
名城大学 畑中 美穂
- 3-P8-5 令和6年能登半島地震におけるDMAT看護師のセルフケアに関する研究
東京医療保健大学立川看護学部 看護学科 櫻井 敬子
- 3-P8-6 災害支援者のメンタルヘルスに関わる
ソーシャルサポートについてのインタビュー調査【第3報】
東洋大学大学院ライフデザイン学研究所 博士後期課程 山本建太郎
- 3-P8-7 令和6年能登半島地震に対する三重県内のDMAT隊員を対象とした
メンタルヘルスに関するアンケート調査
三重大学医学部 医学科 森 誠人
- 3-P8-8 COVID-19禍における災害派遣医療チームの
メンタルヘルス支援に関する文献レビュー
筑波大学医学医療系 山下美智代

■ポスター3-9

3日目 (3月21日) 13:10～14:10

ポスター会場 (展示ホール)

「本部運営」を科学する

座長 安部 史生 (神戸赤十字病院検査部)
森崎 善久 (武蔵野総合病院)

3-P9-1 DMAT事務局本部内ドクターヘリ支援本部設置の試み
ー令和7年度大規模地震訓練の経験からー

兵庫県立加古川医療センター 宮崎 大

3-P9-2 CSCAを強調して訓練災害対策本部に医療のテーブルを
～十勝岳噴火防災訓練での試み～

浦河赤十字病院 大友 元

3-P9-3 大雨で思いがけず浸水した病棟から入院患者を垂直避難させた事例における
災害対策本部の有用性

川崎市立井田病院 災害時医療等委員会 DMAT部会 下澤 信彦

3-P9-4 本部活動における情報伝達記録データ運用の有用性について

大阪赤十字病院 天野 順子

3-P9-5 夜間・休日の災害対応力向上への取り組み
～視覚的教材を活用した共通理解の促進～

徳島赤十字病院 谷澤 俊亮

3-P9-6 「本部のイメージ動画」を活用した新EMIS入力研修

大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター 横野 良典

3-P9-7 本部活動における安定したWi-Fi環境の構築

福島赤十字病院事務部 三浦 有樹

3-P9-8 演題取下

■ポスター3-10

3日目 (3月21日) 13:10～14:10

ポスター会場 (展示ホール)

「地域と防災」を科学する 2

座長 岡本 博之 (手稲仁会病院 救命救急センター)
富尾 淳 (国立保健医療科学院 健康危機管理研究部)

3-P10-1 体験型防災教育が促す主体的な学び
ー親子で学ぶ「災害」にみる行動変容の可能性ー

大阪赤十字病院 三浦 知絢

3-P10-2 メディカルラリーへの参加が高校生の進路・職業選択に与える影響 (第一報)

三重大学医学部附属病院 看護部 森川 寛之

3-P10-3 透析患者の災害意識を高める取り組み ～患者参加型訓練の実践と評価～

医療法人清明会 やよいがおか鹿毛病院 城野 弥生

- 3-P10-4 離島の「【地域らしさ】を守る災害保健活動」研修開発
国立保健医療科学院生涯健康研究部、丸谷 美紀
- 3-P10-5 減災カードゲームを活用した水防避難訓練
松山赤十字病院 吉岡 雄一
- 3-P10-6 常駐医師不在の離島における住民主体の防災教育モデル構築の試み
鹿児島赤十字病院 平田 悠哉
- 3-P10-7 災害医療におけるトリアージ実施者の法的保護：アメリカの法制度の分析
森・濱田松本法律事務所 南谷 健太

■ポスター3-11

3日目 (3月21日) 13:10～14:10

ポスター会場 (展示ホール)

「DMAT」を科学する

座長 畑 倫明 (米盛病院 消化器外科)
室野井智博 (島根大学医学部附属病院 災害医療危機管理センター)

- 3-P11-1 院内災害対応力を高めるDMATの役割ー協働型訓練の実践から
高崎総合医療センター 岡崎 直子
- 3-P11-2 指定外医療機関で勤務するDMAT隊員が果たす役割
(受援側の立場として) <第2報>
一般財団法人永頼会 松山市民病院 救急科 小田原一哉
- 3-P11-3 長時間の東京DMAT活動における看護師の課題
日本医科大学付属病院 高度救命救急センター 池田 慎人
- 3-P11-4 院内DMAT事務局としての院内DMAT隊員への継続教育に関する取り組み
りんくう総合医療センター危機管理室/りんくう総合医療センター看護局初療手術室 西村 直子
- 3-P11-5 当院業務調整員の東京DMAT出場機会の確保に向けた輪番制構築の検討
東京医科大学病院 救命救急センター 吉田 成孝
- 3-P11-6 DMAT継続教育の体制整備
～隊員の受講歴の見える化と能力向上への取り組み～
独立行政法人国立病院機構 高崎総合医療センター 八木 美穂
- 3-P11-7 院内新規DMAT隊員向けシミュレーション型教育の実践報告
地方独立行政法人都立病院機構 東京都立広尾病院 青木 翔
- 3-P11-8 院内災害対策チームを活用したDMAT隊員養成研修の推薦者決定方法について
関東労災病院 矢尾 淳

■ポスター3-12

3日目 (3月21日) 13:10～14:10

ポスター会場 (展示ホール)

「国際災害支援」を科学する

座長 江津 繁 (独立行政法人国立病院機構 埼玉病院)
瀬戸 弘和 (伊東市民病院 薬剤室)

- 3-P12-1 ミャンマー中部で発生した地震被害における
国際緊急援助隊2次隊臨床検査部門での活動報告と課題
岡崎市保健所 生活衛生課 佐藤 千歳
- 3-P12-2 暑熱環境下における診療活動の調整と看護実践：
ミャンマー地震対応にみるJDR医療チームと他国EMTの比較
広島大学大学院/東京科学大学病院/国際緊急援助隊医療チーム 高村 ゆ希
- 3-P12-3 国際危機下の医療搬送（MEDEVAC）体制整備と今後の展望
－PCPM国際会議とWHO新ガイダンスを踏まえて－
国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局 豊國 義樹
- 3-P12-4 ミャンマー地震緊急救援における赤十字看護師の活動と長期的支援への取り組み
日本赤十字社 大阪赤十字病院 藤原 真由
- 3-P12-5 ネパールにおける干ばつ支援計画の立ち上げ経験とコーディネーションの重要性
大阪赤十字病院 薬剤部/大阪赤十字病院 国際医療救援部 仲里泰太郎
- 3-P12-6 国際緊急援助隊医療チームにおける診療放射線技師の役割と課題
独立行政法人国立病院機構 災害医療センター 中央放射線部 三好 貴裕
- 3-P12-7 戦傷医学の最新トピックについて
防衛医科大学校病院 外傷・熱傷・事應對処医療センター/
防衛医科大学 防衛医学研究センター 外傷研究部門 霧生 信明

■ポスター3-13

3日目（3月21日）13:10～14:10

ポスター会場（展示ホール）

「多数傷病者/局地災害」を科学する

座長 鷗澤 佑（神戸大学大学院医学研究科 外科系講座 災害・救急医学分野）
藤塚 健次（前橋赤十字病院 集中治療科・救急科）

- 3-P13-1 地下鉄工事現場で発生した集団CO中毒
聖路加国際病院 救急科・救急救命センター 飯田 英希
- 3-P13-2 一酸化炭素中毒による多数傷病者事案でのトリアージの一例
日本医科大学付属病院 高度救命救急センター 高橋 聡子
- 3-P13-3 催涙スプレーによる小児外因性多数傷病者事案におけるドクターカー/
消防と院内の連携
済生会滋賀県病院 救急集中治療科 奥村 能城
- 3-P13-4 多数の蜂刺症患者発生事案における東京DMATの活動と
当院における受け入れ体制の報告
市立青梅総合医療センター 救命救急センター 原田 巽矢
- 3-P13-5 僻地病院での多数傷病者対応
海陽町国民健康保険海南病院 國永 直樹
- 3-P13-6 報告1「高速道での多数傷病者発生事案」検討会について
徳島県保健福祉部 高井 雅行

3-P13-7 報告2「高速道での多数傷病者発生事案」における
県医療調整本部の設置・運営について

徳島県保健福祉部 鎌村 好孝

3-P13-8 多数傷病者受け入れ訓練の課題と考察

京都府立医科大学附属病院 看護部 上辻 杏

■ポスター3-14

3日目(3月21日)13:10~14:10

ポスター会場(展示ホール)

「災害訓練」を科学する3

座長 酒井 智彦(大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター)
杉田 学(順天堂大学医学部附属練馬病院 救急・集中治療科)

3-P14-1 医療福祉関係者と災害中間支援組織の合同研修の提案

健生会土庫病院 中尾 武

3-P14-2 内閣府訓練への道 その1 ー津波初動のリアルを語ろうー

市立室蘭総合病院 下館 勇樹

3-P14-3 内閣府訓練への道 その2 ー現実を重視した想定でー

市立室蘭総合病院 下館 勇樹

3-P14-4 兵庫県西播磨地域における保健所職員によるDHCoS訓練

神戸常盤大学 味木和喜子

3-P14-5 被災病院で描くDMAT×DPAT協働の可能性
～令和7年度大規模地震時医療活動訓練を通じて～

市立大津市民病院 吉田 修

3-P14-6 大規模地震を想定した、DHEAT,
保健師等チームの応援派遣調整システム訓練の報告

一般財団法人日本公衆衛生協会 健康危機管理支援部 高岡 誠子

3-P14-7 災害拠点病院としての使命ー院内訓練を通じた備えの再構築ー

日本赤十字社和歌山医療センター 災害医療救援センター 大谷 香織

3-P14-8 令和7年度大規模地震時医療活動訓練参加における
青森県庁内での日臨技リエゾンとしての経験について

八戸市立市民病院 救命救急センター 奥沢 悦子

■ポスター3-15

3日目(3月21日)13:10~14:10

ポスター会場(展示ホール)

「災害訓練」を科学する4

座長 町田 浩志(国立病院機構 高崎総合医療センター 救急科)
松岡 良太(まつおか内科循環器クリニック)

3-P15-1 救命救急病棟における災害訓練の効果と課題
ートリアージシートの導入・患者情報収集シートの改善ー

聖隷浜松病院 竹村昭一郎

- 3-P15-2 ウェアラブルカメラを用いた薬剤師への災害対応訓練の振り返りと課題抽出
三重大学医学部附属病院 薬剤部 田坂 健
- 3-P15-3 手術室における災害時初期対応標準化への取り組み
ーアクションカードと被害状況報告書を用いた机上訓練の実践ー
JCHO東京山手メディカルセンター 竹内希実華
- 3-P15-4 救命救急センター病棟の看護師に対する、
南海トラフ地震を想定した緊急地震速報発表から発災超急性期の机上演習の試み。
高知赤十字病院 麻酔・集中治療部 山崎 浩史
- 3-P15-5 局地災害における多数傷病者受け入れを想定した机上訓練の取り組みと課題
筑波メディカルセンター病院 救急診療科 前田 道宏
- 3-P15-6 災害訓練におけるトリアージ教育の工夫
川崎市立多摩病院/聖マリアンナ医科大学 救急医学 野村 悠
- 3-P15-7 放射線科における初期災害対応を標準化するための訓練ツールの開発と評価
社会医療法人宏潤会 大同病院 村田 昌也
- 3-P15-8 リハビリテーション技術科における
災害対応能力向上を目的とした教育的介入と効果
磐田市立総合病院 寺田 僚介

■ポスター3-16

3日目 (3月21日) 13:10~14:10

ポスター会場 (展示ホール)

「支援と体制の構築」を科学する 2

座長 野中 良恵 (厚生労働省大臣官房厚生科学課 災害等危機管理対策室)
山崎 元靖 (神奈川県健康医療局)

- 3-P16-1 令和7年度大規模地震時医療活動訓練における青森県の医療訓練企画
弘前大学災害・被災く医療教育センター、辻口 貴清
- 3-P16-2 演題取下
- 3-P16-3 演題取下
- 3-P16-4 小児・周産期医療が地域の災害訓練にコラボレーションするために
前橋赤十字病院 集中治療科・救急科 中林 洋介
- 3-P16-5 防災の心理的ハードルを下げるにはー備蓄おやつの選択行動からの考察
北見赤十字病院 谷口 治
- 3-P16-6 災害支援者の携行食の実態調査に関する研究
兵庫県栄養士会 濱田 真里
- 3-P16-7 広域災害における初動支援遅延を見据えた家庭の非常食備蓄状況：
全国世帯調査に基づく横断解析
徳島大学大学院医歯薬学研究部 疾患病理学分野 清水真祐子

3-P16-8 全国世帯調査に基づく災害食備蓄行動の関連因子：
社会経済・居住・災害経験要因に着目した横断解析

徳島大学大学院医歯薬学研究所 予防医学分野 渡邊 毅

■ポスター3-17

3日目（3月21日）13:10～14:10

ポスター会場（展示ホール）

「学生活動」を科学する2

座長 奥山 純子（高綱学院大学 健康栄養学類）
齋藤 博則（岡山赤十字病院 医療社会事業部）

3-P17-1 医療系学生団体による災害医療の学習・啓発活動の報告

国際医療福祉大学 田村 晃子

3-P17-2 “もしも”を“じぶんごと”に変える
学生による避難所運営体験から見えた意識の変化

滋賀医科大学 大坪 琉奈

3-P17-3 立場を変えて関わり続ける医系学生災害医療ロジスティクス演習

長崎大学医学部 医学科 下野 舞花

3-P17-4 学生団体千葉EggMATの立ち上げ報告と今後の展望

千葉県立保健医療大学健康科学部 看護学科 田中寿莉亜

3-P17-5 体験が育む当事者意識—多大学合同体験型防災教育の効果検証

岡山大学医学部 保健学科 看護学専攻/岡山大学災害支援学生チーム「Aegis(エイジス)」 中務 美遥

3-P17-6 離島医療を想定した災害ロジスティクス演習における
多職種連携教育に対するチューター介入の役割

福岡大学薬学部 健康危機管理薬学研究室 吉田 奈央

3-P17-7 学生主体によるPOCUS教育活動と災害医療教育への応用

—和歌山県立医科大学K-PICSの取り組み—

和歌山県立医科大学 医学部 医学科 樋上 和真

■ポスター3-18

3日目（3月21日）13:10～14:10

ポスター会場（展示ホール）

「院内災害対策」を科学する4

座長 豊田 泉（岐阜県総合医療センター 救命救急センター）
中村 誠昌（長浜赤十字病院 医療社会事業部）

3-P18-1 防災減災に向けた病院内多職種連携による試み—防災減災リンク活動の始動報告

東京女子医科大学病院 病院災害対策実務部会/東京女子医科大学病院 産婦人科 石川 源

3-P18-2 個人備蓄を始めるきっかけづくり—院内備蓄販売会の取り組み—

地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立多摩総合医療センター 災害対策チーム 梅澤 雄

3-P18-3 職員の災害対策意識向上を図るための体験型学習会

東京都立広尾病院 岡野 美穂

- 3-P18-4 外来で働くスタッフの災害時対応に対する意識調査
金沢医療センター 福間 睦子
- 3-P18-5 職員の個人防災リテラシーの変化—家庭と職場における意識と行動の比較検討—
鹿児島大学病院 救命救急センター・集中治療部 入来 泰久
- 3-P18-6 大学病院外科医を対象とした災害時参集に関する意識調査
千葉大学大学院医学研究院 先端応用外科学 藏田 能裕
- 3-P18-7 当科及び当科病棟の災害意識向上への取り組み
川崎医科大学総合医療センター 赤木 晃久
- 3-P18-8 災害拠点病院新入職員の災害医療に対する意識調査
さぬき市民病院 脳神経外科 笹岡 昇

■ポスター3-19

3日目(3月21日) 13:10～14:10

ポスター会場(展示ホール)

「避難所」を科学する

座長 小倉 憲一(富山県厚生部)
香田 将英(岡山大学学術研究院 医歯薬学域 地域医療共済推進オフィス)

- 3-P19-1 日本の避難所の質向上への課題と展望
～令和6年能登半島地震におけるNPOの実践から～
特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン 木下真由香
- 3-P19-2 千葉県印旛および香取保健所管内における
行政職員へ向けた避難所運営ゲーム(HUG)の実施について
日本医科大学千葉北総病院 災害対策室 山内 延貴
- 3-P19-3 日本初のイタリア型避難所支援を参考にした、
横浜市の避難所の広域相互支援の仕組み
避難所・避難生活学会/Jバックス株式会社 水谷 嘉浩
- 3-P19-4 イタリア式避難所開設訓練報告
信州大学医学部附属病院 高山 浩史
- 3-P19-5 看護実習室における演習時の室内空気環境の実態
～災害時避難所における模擬生活行動の視点で検討～
大阪大学医学系研究科 保健学専攻 木戸 倫子
- 3-P19-6 イスラムの文化的尊厳に配慮した避難所運営に関する
自治体の対応とモスクとの連携の実態調査
日本赤十字広島看護大学 高田 洋介